

太陽光発電システム（屋根上設置）の 設備浸水・水没時の注意点

太陽光発電システムが水没・浸水した場合は、一般家電製品同様に注意が必要です
日頃から注意点を確認しておきましょう

1 太陽光発電システムの設置状況を知る

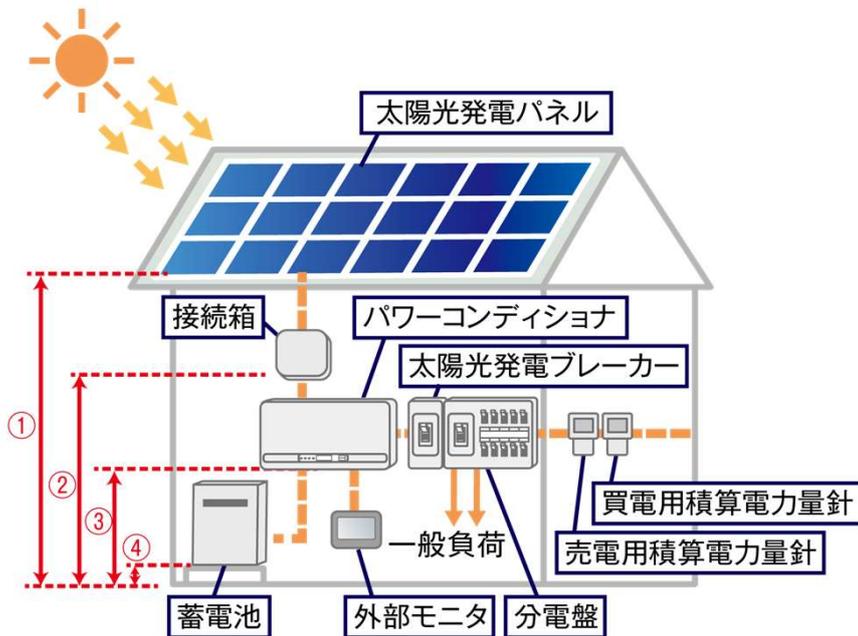
▶ 水害時等に備え、**太陽光発電システムが設置されている高さ**を知っておくことが重要です*



メモしておきましょう

各機器が設置されている
高さは地上から

- | | |
|--------------|---|
| ① 太陽光パネル | m |
| ② 接続箱 | m |
| ③ パワーコンディショナ | m |
| ④ 蓄電池 | m |



*太陽光発電システムが水没・浸水するような災害時は、お住まいの自治体からの情報を十分に確認してください。

2 万が一避難する際は太陽光発電ブレーカー等をOFF

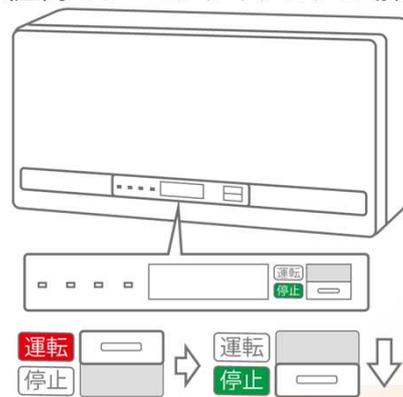
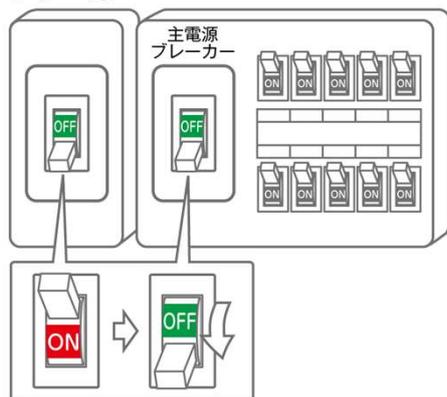
実施手順※

- ① 分電盤の主電源ブレーカーをOFF
- ② 太陽光発電ブレーカーをOFF
- ③ 太陽光発電システムの運転スイッチをOFF

② 太陽光発電
ブレーカー

① 分電盤

③ 運転スイッチ
(屋内パワーコンディショナの場合)



*分電盤やブレーカー等の形状・パターンは各家庭で異なるため、あらかじめ確認しておくことが重要です。

3 水害後は販売店・施工店に連絡を

(水害後) 自宅の被害や水没・浸水の深さを確認



水没・浸水等が確認された場合

感電・けがの恐れもあるので注意

- ✓ 太陽電池パネルの破損、ケーブルの断線、パワーコンディショナ／接続箱等システムの一部でも水没・浸水が確認された場合には、一般的な家電製品が冠水した場合と同様に、絶対にそのままでは使用（通電）せず、また手を触れず、販売店・施工店に連絡してください。



水没・浸水等がない場合

不明な場合・不安な場合も連絡を

- ✓ 停電又は避難後の帰宅時、以下の手順でディスプレイ等にエラーメッセージが出ていないか確認してください。
 - ① 分電盤の主電源ブレーカーをオン
 - ② 太陽光発電ブレーカーをオン
 - ③ 太陽光発電システムの運転スイッチをオン

* エラーメッセージが出ていたら販売店・施工店に連絡を



メモしておきましょう

販売店・施工店名 :

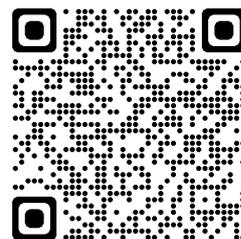
連絡先 (TEL) :

販売店・施工店が不明な場合は、メーカー相談窓口等の連絡先を控えておきましょう。

(水害等の被害がない通常の停電時)

- ・ 太陽光発電システムは、停電中に自立運転モードに切り替えると、太陽光で発電した電気を使用できます。
- ・ 使用方法を平常時から訓練しておきましょう。

こちらから確認できます⇒



〒105-0004

東京都港区新橋2-12-17 新橋I-Nビル8F

TEL:0570-003-045 <https://www.jpea.gr.jp>

JPEA 太陽光発電協会
Japan Photovoltaic Energy Association